

令和 8 年 2 月 26 日

保 護 者 様

加古川市立野口北小学校
校 長 小宮 美和

令和 7 年度学校評価アンケート結果のお知らせ

向春の候、皆様におかれましてはますますご清祥のことと存じます。平素は本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、先日は「保護者アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。保護者の皆様のご回答ならびに児童アンケートの結果がまとまりましたので、その概要を報告いたします。

なお、項目ごとの詳細な数値については、本校ホームページに掲載いたしますので、そちらもあわせてご覧いただきますようお願いいたします。

学校ではさらに結果を分析し、今後の指導改善に取り組んでまいります。

「よく考える子」の育成

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」
を肯定的回答としています

- 『「考える」「対話する」「表現する」学習（協同的探究学習を核とした授業）への取組』については、今年度は『表現することを通して学びを深める子どもの育成 ―協同的探究学習と ICT を活用した授業づくり―』を研究主題に設定し、全教員で研究に取り組みました。その成果として、自分の考えを根拠や理由を明確にして説明できる児童が増えており、保護者から 95%、児童から 89.7%の肯定的回答を得ることができました。今後もこの取組を継続し、「わかる学力」の育成を推進していきます。
- 『読書習慣の確立』については、「本を読んでいる」と肯定的回答をした割合は、保護者 49.2%、児童 69.2%でした。年々数値が低下しており、ゲーム、動画等の娯楽の多様化により、読書の時間が減少していることが考えられます。読書は教養や知識を身につけ、想像力を豊かにするだけでなく、語彙や表現の幅を広げ、会話力や文章力の向上にもつながります。本校では、朝の学習での読書時間の確保、読み聞かせ、読書貯金の取り組み、電子図書館の活用に加え、今年度は、市立図書館より年間を通して多数の図書を借り受け、教室に常備するなど、いつでも本を手にとれる環境づくりを進めています。ご家庭におかれましても、引き続き読書習慣の定着にご協力をお願いいたします。

「助け合う子」の育成

- 「友だちと仲良くして、楽しく学校生活を送っている」と肯定的回答をした児童は 92.1%でした。めざす児童像「4つのかぎでだれもが行きたくなる学校」の実現に向けて、楽しくないと感じている児童の思いをていねいに受け止め、だれもが安心して過ごせる学校・学級づくりに努めます。

- 「困っている友達に気づいたら、自分から声をかけたり先生に伝えたりしている」という項目では、肯定的回答は86.7%で、去年度より向上しました。今後も児童の前向きな行動や取り組みがさらに深まるよう、共生の心を育む教育を一層充実させていきます。
- 「自分の思いや考えを相手に正しく伝えることができる」という項目では、肯定的回答は保護者が75.2%、児童が80.7%と、低い結果となりました。この結果を重く受け止め、改善策を検討するとともに、今後も対人関係のスキルを身に付ける学習を継続し、いじめやトラブルの未然防止となるよう努めていきます。

「やりぬく子」の育成

- 『自己肯定感・自己有用感を育む活動の充実』については、「学校は、子どものよいところをほめ、自信をもたせるように努めている」と肯定的回答をした保護者が93.9%でした。また、「目標をもってがんばっていることや自信をもっていることがある」と肯定的回答をした児童は87.3%、「委員や係、当番（日直、そうじ、給食）などの自分の役割をきちんと果たしている」は94.7%と高い数値となっています。今後も、子どもたちが自分の役割を果たすことを通して自分のよさに気づき、自信をもって行動できるように、今後も支援していきます。
- 『学習規律・生活規律の徹底』については、保護者は「学校は、きまり（学習・生活）やマナーの指導を行っている」と94.2%、教職員は「学習規律や生活規律等の学校のきまりやマナーの指導を行っている」と100%の肯定的回答を得ています。今後もきまりやマナーの意味を考える機会を大切に、発達段階に応じた具体的な指導を行っていきます。

「たくましい子」の育成

- 「自分から元気よくあいさつをしている」児童は76.2%、「家庭や地域で自分からあいさつや会釈ができる」と回答した保護者は73.7%で、いずれも昨年度より数値が減少しました。「警備員さんや交通指導員さん、地域の方からあいさつをされても、あいさつを返さない児童がいて残念だ」というご意見もいただいております。児童会や委員会によるあいさつ運動や教職員からの積極的な声掛けを通して、児童のあいさつへの意識を高めていきます。
- 「地震や火事などのいざという時には、安全な行動をすることができる」と肯定的回答をした児童は93.8%でした。地域の行事（陵南祭り）でも毎年防災教室が行われ、防災への関心は高まっています。「自分の命は自分で守る」を合言葉に、今後も様々な場面を想定した訓練を行うなど、安全を第一に考えた行動がとれるように防災教育を推進していきます。

貴重なご意見をいただきありがとうございました

今年度は自由記述欄を設けたことで、保護者の皆様から多くの貴重なご意見を頂戴いたしました。心より感謝申し上げます。いただいたご意見を真摯に受け止め、今後も地域および保護者の皆様との連携を一層深めながら、改善に向けた取り組みを着実に進めてまいります。そして、子どもたちにとってより良い教育環境を実現できるよう、教職員一同努めてまいります。引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。